

## 「学生によるミタカ・ミライ研究アワード 2020」申込書

「学生によるミタカ・ミライ研究アワード 2020」において、下記のとおり自らの調査研究を発表したいため、募集要項に基づき応募します。

研究テーマ	三鷹コンフォート・シティ計画～高齢者のオアシスとしての活性化
-------	--------------------------------

### ◆応募者（応募代表者）

(フリガナ) 武 樋 空 人	大学名、学部名、ゼミ名(あれば)
氏名 <b>武樋 空人</b>	亜細亜大学 都市創造学部 後藤ゼミ

### ◆共同提案者

氏名(フリガナ)	大学名、学部名、ゼミ名(あれば)
小林あかり (コバヤ アカリ)	亜細亜大学 都市創造学部 後藤ゼミ
井上晃希 (イノウエ コウキ)	亜細亜大学 都市創造学部 後藤ゼミ
西川陽介 (ニシカワ ヨウスケ)	亜細亜大学 都市創造学部 後藤ゼミ
若松紗彩 (ワカマツ サヤ)	亜細亜大学 都市創造学部 後藤ゼミ
中田茉莉香 (ナカ マリカ)	亜細亜大学 都市創造学部 後藤ゼミ
馬場勇輝 (バ マユキ)	亜細亜大学 都市創造学部 後藤ゼミ
小林日向子 (コバヤ ヒナコ)	亜細亜大学 都市創造学部 後藤ゼミ
伊藤優花 (イトウ ユカ)	亜細亜大学 都市創造学部 後藤ゼミ
勢能里沙 (セノリ サ)	亜細亜大学 都市創造学部 後藤ゼミ
塚田萌佳 (ツカダ モトカ)	亜細亜大学 都市創造学部 後藤ゼミ
佐藤旺由 (サトウ ヒカリ)	亜細亜大学 都市創造学部 後藤ゼミ

### ◆研究の動機、テーマに関する考え、研究計画・手法などを、600字以内で記載

私たち亜細亜大学都市創造学部の後藤ゼミは、三鷹市を高齢者が癒やしを得られる「コンフォート・シティ」にすることで活性化する提案を致します。一般に高齢化は街の活気を失わせるといったネガティブな印象がありますが、私たちは「高齢者は豊富な余暇時間と消費力、目利き力を持った人々」と評価し、積極誘致することで、都市の経済力、文化力を高められると考えます。コンフォート・シティはバリアフリーは当然とし、安心して散策でき、休む場所が用意され、食事やショッピング、芸術鑑賞、娯楽も複合的に楽しめる街です。具体的には広い歩道、彫刻などを配した休憩エリア、植栽もある屋上公園を設置した多層の商業・文化施設を開発し、安全な歩道で結ぶ回遊型市街地を提案します。

こうした高齢者向けの配慮は幼児連れの家族、余暇をゆったり過ごしたい若者、ペットを散歩させる市民、外国人観光客なども望むもので、万人向けの「コンフォート・シティ」になります。中央線沿線には若者を吸引する中野、吉祥寺などの街があり、三鷹市は高齢者に着目することで差別化を図るべきと考えます。

後藤ゼミでは都市の実態を知るため、歩行者速度調査を毎年、都内各地で実施し、年齢層、性別、同行人数、スマホ利用などで歩行がどう変化するかを調査して来ました。そのノウハウに基づき歩行者調査を実施し、街路の改善点なども発見し、コンフォート・シティ実現に向けた提案を構築していきます。